

お住いの物件は光ネット完備 アイネット対応物件です。



インターネット設備のご利用について

基本的にLANケーブルをパソコンにつなぐだけでインターネットをご利用開始できますが、もしつながらなかった場合は、本紙の手順に従って設定してください。ネットワーク共有がされないようにシステムで制御されており、お客様ご自身でもセキュリティ強化されることを推奨いたします。

※現在ご利用中のインターネットの解約、プラン変更のお手続きに関しては、お部屋でインターネットが問題なくご利用出来ることをご確認していただいた後、お手持ちの契約書等をご確認の上、お客様ご自身でお手続きください。

お部屋のWi-Fi設備がご利用できます

Wi-Fiを利用する際、無線LAN本体に記載してありますSSIDに対してパスワードを入力すれば利用できます。
※機器はお部屋の設備となりますので、持ち出しや紛失、破損された場合は有償にてご対応させていただきます。

1.Wi-Fiを利用してインターネットに接続する場合

お部屋の無線LAN設備を利用して、パソコンはもちろん、スマートフォン、ゲーム機もWi-Fiでインターネット接続が可能です。
(ご契約のお部屋により設備は異なります)



◎置型無線LAN設備イメージ



◎埋込無線LAN設備イメージ

パソコンの場合

①パソコンの画面にある電波マークをクリックします。

電波マーク例:



②接続する無線LAN設備のSSIDをクリックします。

③「自動的に接続する」をチェックし、「接続」をクリックします。

④セキュリティキーを入力する画面が表示される場合は、無線LAN設備のセキュリティキーを入力し、「OK」をクリックします。

⑤「接続済み」や電波マークが接続前の表示と変わったら設定は完了です。

スマートフォンの場合

①ホーム画面から「設定」をタップします。

②「Wi-Fi」をタップし、「Wi-Fi」がオフになっている場合はオンにします。周辺に電波が飛んでいる場合は、SSIDが複数表示されますので、接続する無線LAN設備のSSIDをタップします。

③パスワードを入力する画面が表示される場合は、無線LAN設備のセキュリティキーを入力し、「接続」をタップします。

④接続が完了すると、該当のSSIDにチェックがつきます。

■Wi-Fiの接続には、無線LAN設備のSSID、セキュリティキーなどが必要です。

SSID、セキュリティキーは無線LAN設備のラベルに記載されています。

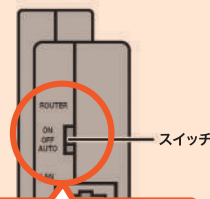
※無線LAN設備に記載されているどのSSIDでも接続可能です。2.4G/5Gの記載があるものは、接続したい機器に繋がる方でご利用ください。

■置型無線LAN設備での注意事項

置型無線LAN設備での利用時は、「**ルーター機能をOFF**」にし、アクセスポイントモードに設定してください。
(機器によっては、アクセスポイントモード、APモード、ブリッジモード等で表記されている場合があります)

変更手順例)

- ①無線LANの電源を抜いてください。
- ②無線LANの背面にある「**ROUTER**」スイッチを「**OFF**」に変更してください。
- ③無線LANの電源を入れてください。



スイッチを「**OFF**」にする

■埋込無線LAN設備での注意事項

記載されたSSIDが見えない場合、電源ボタンのOFF/ONをお試しください。

※電源の形状が右記の場合はボタンが押し込まれた状態がONとなります。うまく押せない場合は爪楊枝等を使用してください。



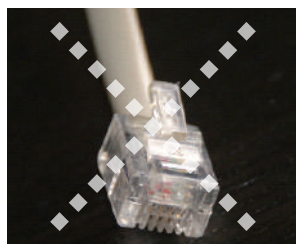
■トラブルシューティング

接続ができない

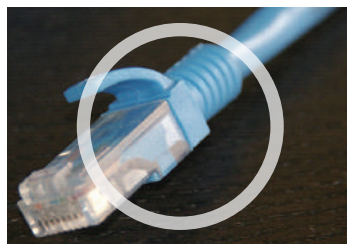
- 接続したい機器に無線LAN設備のSSID、セキュリティキーが設定されているか確認してください。
- 無線LAN設備と接続したい機器の電源をOFFにし、再度無線LAN設備、接続したい機器の順に電源を入れてください。

2.有線LANケーブルにてパソコンでインターネットに接続する場合

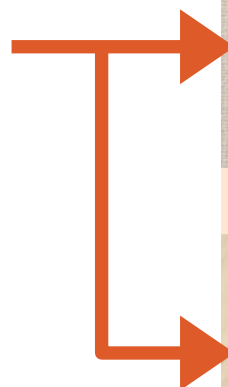
①お部屋のLANケーブルの差込口、もしくは無線設備のLAN差込口へLANケーブルを接続する



電話線ではつなげられません



LANケーブルをご使用ください



お部屋のLANケーブルの差込口へLANケーブルをおつなぎください



※置型無線LAN設備に接続する際は下記のように接続してください。

- ①お部屋のLANケーブル差込口からWANポート(インターネット)へ接続
- ②LANポートからパソコンへ接続

②パソコンとLANケーブルを接続する

LANケーブルを、パソコンのLAN接続口へ接続してください。
つないだらパソコンの電源を入れてください。



3.インターネットに接続できなかった場合のパソコン設定

Windows7/8 の場合

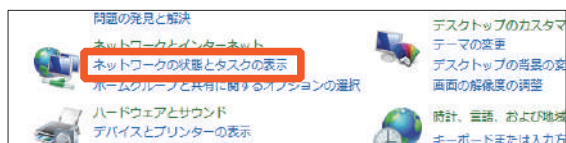
●Windows7の場合

- ①「スタート」ボタン→「コントロールパネル」をクリックします。

●Windows8の場合

- ①「スタート」画面の余白部分を右クリックし、右下に表示される「すべてのアプリ」をクリックし、アプリ一覧から「コントロールパネル」をクリックします。

- ②「ネットワークとインターネット」の「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。



- ③「アダプター設定の変更」をクリックします。



- ④「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

- ⑤「この接続は次の項目を使用します」の一覧から[インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)]をクリックし、[プロパティ]をクリックします。

- ⑥以下のように設定します。

- ・「IPアドレスを自動的に取得する」を選択
 - ・「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択
- 「OK」をクリックします。

- ⑦「OK」をクリックしパソコンを再起動して設定完了です。

Windows10 の場合

- ①「スタート」ボタン→「設定」をクリックします。
- ②「ネットワークとインターネット」をクリックします。
- ③「イーサネット」をクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリックします。



- ④「アダプター設定の変更」をクリックします。



- ⑤「イーサネット」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

- ⑥「この接続は次の項目を使用します」の一覧から[インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)]をクリックし、[プロパティ]をクリックします。

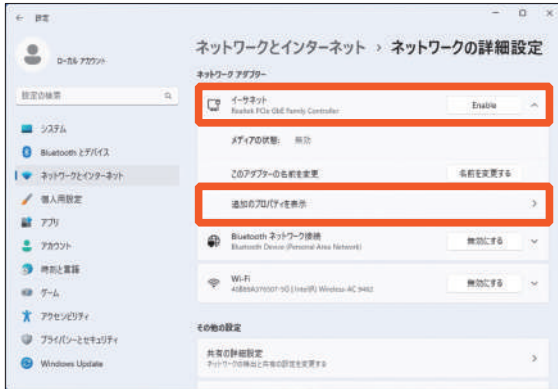
- ⑦以下のように設定します。

- ・「IPアドレスを自動的に取得する」を選択
 - ・「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択
- 「OK」をクリックします。

- ⑧「OK」をクリックしパソコンを再起動して設定完了です。

Windows11 の場合

- ①「スタート」ボタン→「設定」をクリックします。
- ②「ネットワークとインターネット」をクリックします。
- ③「イーサネット」をクリックし、「追加のプロパティを表示」をクリックします。



- ④「編集」ボタンをクリックし、以下のように設定します。

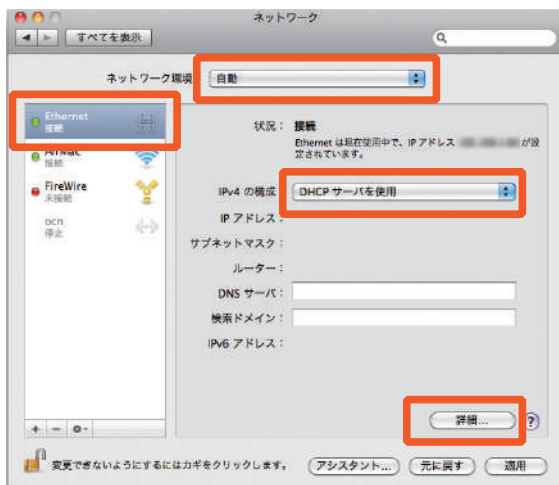


- ・IP 割り当て:自動(DHCP)を選択
 - ・DNS サーバーの割り当て:自動(DHCP)を選択
- 「保存」ボタンをクリックします。

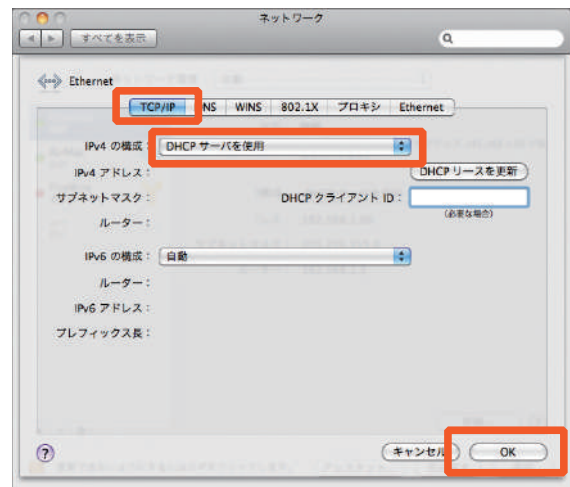
- ⑤設定が反映されていることを確認します。

Mac OS の場合

- ①デスクトップ画面左上のアップルメニューから「システム環境設定」をクリックします。
- ②「ネットワーク」をクリックします。
- ③「Ethernet接続」から、ネットワーク環境を「自動」、構成を「DHCPサーバを使用」を選択し、「詳細」をクリック。



- ④「TCP/IP」からIPv4の構成を、「DHCPサーバを使用」を選択し、「OK」をクリック。「適用」をクリックし終了。



ご利用における Q&A

Q.ご契約について

A.お客様側での契約は必要ありません。

Q.インターネットの通信速度について

A.光ファイバー回線による、1Gbpsまたは200Mbps(物件により異なります)のベストエフォート型サービスです。入居者様ご利用の機器や時間帯などの環境によって速度の変化がございます。

Q.電話について

a.電話加入権を購入されてご利用されている方

→特に問題はなくご利用いただけます。

b.フレッツ光等光回線の電話(ひかり電話)をご利用されている方

→その電話番号が光回線をご契約する前からご利用されていた番号であれば、加入権を復活させて契約を再開していただければ特に問題ありませんが、光回線の契約時にひかり電話を同時申込されたものであれば、光回線を解約すると同時にひかり電話も解約されてしまい、ご利用できなくなってしまいますので注意が必要です。ご不明な際はNTT(0120-116-116)もしくはご契約の光回線事業者にお問い合わせの上ご確認ください。

c.アイネットをひかり電話の回線としてご利用することは出来ません。(ひかり電話をご利用希望の場合は、お客様側で別途光回線のご契約が必要となります)

Q.メールアドレスが欲しい

A.Google、yahoo、hotmail 等のフリーメールアドレスの取得を推奨しております。現在ご利用されているプロバイダのメールアドレスはご継続されたい場合は、ご契約されているプロバイダーにお問い合わせください。

Q.「アクトピラ」などのテレビ搭載のインターネットサービスについて

A.ご利用可能です。ただし、一部の機能に関してはご利用頂けない場合がございます。

Q.複数のパソコン・スマートフォン等の無線LAN機器(Wi-Fi 通信)をご利用する際に関して

A.各戸ごとにご利用可能です。ルータを接続する際は『ブリッジ設定』でご利用下さい。設定に関してご不明な場合は、サポートセンターまでお問合せ下さい。

Q.外部向けのサーバー設置(商用含む)、VPN接続について

A.サーバーの設置はご遠慮頂いております。レンタルサーバー・オンラインストレージ等のご利用をご検討下さい。

また、VPN接続には対応していない為、ご利用頂けません。

Q.ネットゲーム・Skype・メッセージング等のご利用について

A.基本的にご利用頂けますが、ポート開放など設定変更は行っておりません。ご理解ご協力の程、よろしくお願い致します。

Q.ファイル共有ソフトのご利用について

A.不特定多数の方とのファイル共有を行うソフトのご利用は、固くお断りさせて頂いております。

Q.ウィルス対策について

A.入居者様自身で個別にウィルス対策ソフトをインストールすることを推奨しております。

Q.退去時について

A.お客様側での手続きは特にございません。備え付けの機器等は持ち出さないようお願い致します。持ち出しや紛失、または破損された場合は有償にてご対応させていただきます。

ご利用規約

(禁止事項)

1.本システムの使用にあたっては、次の行為を禁じます。

(1)利用者、第三者、若しくは所有者の権利を侵害する行為及び侵害する恐れのある行為。

(2)ネットワーク関連機器等、他の利用者、第三者若しくは所有者の財産を侵害する行為及び侵害する恐れのある行為。

(3)本システムを使用して他人の秘密情報を閲覧又は、暴露したり、通信を傍受する等、他の利用者又は第三者のプライバシーを侵害する行為及び侵害する恐れのある行為。

(4)利用者、第三者若しくは所有者に不利益又は損害を与える行為又は損害を与える恐れのある行為。

(5)利用者又は第三者を誹謗中傷する行為。

(6)公序良俗に反する行為又その恐れのある行為、若しくは公序良俗に反する情報を他の利用者又は第三者に提供する行為。

(7)犯罪的行為又は犯罪的行為に結びつく行為若しくはその恐れのある行為。

(8)本システムを使用して行う営利目的を業とした行為。

(9)メールアドレス及びパスワードを不正に使用する行為。

(10)コンピューターウイルス等の有害なプログラムを本システムを通じて配信、入手又は提供する行為。

(11)通信の伝送交換に妨害を与える行為。

(12)その他、法令に違反する又は違反する恐れのある行為。

(違反に対する措置)

2.利用者が本規約に違反する行為を行った場合には、その利用者に対しての指導・勧告させて頂く場合がございますが、その後さらに違反が継続するときには、利用者の本システムの使用を停止又は中止させて頂きますので、ご注意ください。

(損害賠償の請求)

3.利用者が本規約に違反したことにより、所有者や物件オーナー、管理受託者、接続業者又はインターネット業者に損害が生じた場合、所有者や物件オーナー、管理受託者、接続業者又はインターネット業者はその利用者に対し損害賠償を請求させて頂く場合がございます。

(免責事項)

4.利用者が本システムの使用により、第三者の当該システム等への侵入等に起因して被った損害については所有者や物件オーナー、管理受託者、接続業者又はインターネット業者は、一切の賠償責任を負わないものとします。

5.利用者が本システムの使用により、第三者に損害を与えた場合にも、所有者や物件オーナー、管理受託者、接続業者又はインターネット業者は、当該第三者の損害につき、一切の賠償責任を負わないものとします。

6.本システムの定期点検等、その他やむを得ない事由によりシステムに接続できない場合、所有者や物件オーナー、管理受託者、接続業者又はインターネット業者は、利用者及び第三者の損害につき、一切の賠償責任を負わないものとします。

7.本マンション内に配置する本システムには、なんらかの原因によるシステムダウンの可能性があることを予め利用者は十分で注意願います。又、当該状況においては、所有者や物件オーナー、接続業者又はインターネット業者は設備復旧に可及的速やかな対応を行います。接続中の電子商取引・証券取引等において利用者が被った損害については、一切の賠償責任を負わないものとします。

8.将来にわたり本マンションの本システムにて対応できないアプリケーション及び本サービス等が提供された場合にインターネット業者は、一切の責任を負わないものとします。

9.通信が著しく混雑、または混雑が生じる可能性がある場合、ネットワーク全体の品質を確保するため、帯域制御を実施する場合があります。

(脱退利用者の義務)

10.利用者の資格を喪失した者(以下「脱退利用者」という。)(利用者であったことにより知り得た秘密等を保持し、外部へ漏洩しない義務を負うものとします。

11.脱退利用者は、利用者であったこと及び利用者であったことにより知り得た事実を利用する等により、所有者内部のネットワークに侵入してはならないものとします。

12.所有者や物件オーナー、管理受託者、接続業者又はインターネット業者は、前二項に違反した脱退利用者に対して損害賠償を請求させて頂く場合がございます。